

男女平等意識と実態についてお聞きします。

問1 次の①～⑦について、男女の地位は平等になっていると思いますか。項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。



	男性優位	男性優位 どちらかといえば	平等	女性優位 どちらかといえば	女性優位
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5
④ 政治の場	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度上	1	2	3	4	5
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑦ 地域活動(自治会・PTA・ボランティア活動など)	1	2	3	4	5

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問3 男女共同参画に関する次の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1 男女共同参画社会 | 2 男女共同参画週間（毎年 6/23～29） |
| 3 女性活躍推進 | 4 ジェンダー（社会的性差） |
| 5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） | 6 育児・介護休業法 |
| 7 イクメン | 8 イクボス |
| 9 ドメスティック・バイオレンス（DV） | 10 デートDV |
| 11 女性に対する暴力をなくす運動（毎年 11/12～25） | 12 マタニティ・ハラスメント |
| 13 性と生殖に関する健康と権利
（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ） | 14 ポジティブ・アクション
（積極的改善措置） |

※ 言葉の意味については「用語の説明」をご覧ください。

仕事や家庭、地域生活などについてお聞きします。

問4 次の①～⑨について、費やしている時間は一日のうちどれくらいですか。配偶者がいる方は、その方についても、(2)にてお答えください。該当しない項目は、枠内に「-」を記入してください。

(1)あなた	仕事や学校のある日		休みの日 仕事や学校のない日	
	時間	分	時間	分
① 仕事・学校(通勤・通学時間除く)	時間	分		
② 通勤・通学時間	時間	分		
③ 家事(炊事、買い物、洗濯、掃除等)	時間	分	時間	分
④ 育児・子育て	時間	分	時間	分
⑤ 介護・看護	時間	分	時間	分
⑥ 自治会活動などの地域活動	時間	分	時間	分
⑦ 個人の時間(学習、趣味、友人付き合い等)	時間	分	時間	分
⑧ 睡眠時間	時間	分	時間	分
⑨ その他	残りの時間		残りの時間	
合 計	24時間	00分	24時間	00分



(2)配偶者

(2)配偶者	仕事や学校のある日		休みの日 仕事や学校のない日	
	時間	分	時間	分
① 仕事・学校(通勤・通学時間除く)	時間	分		
② 通勤・通学時間	時間	分		
③ 家事(炊事、買い物、洗濯、掃除等)	時間	分	時間	分
④ 育児・子育て	時間	分	時間	分
⑤ 介護・看護	時間	分	時間	分
⑥ 自治会活動などの地域活動	時間	分	時間	分
⑦ 個人の時間(学習、趣味、友人付き合い等)	時間	分	時間	分
⑧ 睡眠時間	時間	分	時間	分
⑨ その他	残りの時間		残りの時間	
合 計	24時間	00分	24時間	00分



問5 仕事と子育て・家庭生活を両立するために、行政や企業(職場)においてどのような取組が進めば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(1)行政

- 1 認可保育所・認定こども園の増加
- 2 幼稚園の預かり保育の充実
- 3 保育サービスの充実（認可保育所の延長保育や一時預かり、病児保育など）
- 4 フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組の整備
- 5 育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実

その他

ご記入ください：

(2)企業(職場)

長時間労働の抑制について

- 1 定時退社の推奨
- 2 時間外労働削減のための対策
- 3 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ（労働時間は同じ）

年次有給休暇の取得促進について

- 1 有給休暇取得の奨励
- 2 半日単位での有給休暇取得が可能
- 3 時間単位での有給休暇取得が可能

制度・施設等の整備について

- 1 育児休業や介護休業、子の看護休暇制度の充実
- 2 短時間勤務、在宅就業制度（テレワーク等）、フレックスタイム制度など、フルタイム勤務以外の多様な働き方の充実
- 3 再雇用制度（退職者をパートタイマー等で優先的に雇用する制度等）の充実
- 4 事業所内保育施設の設置
- 5 各種制度等を利用しやすい職場風土づくり

その他

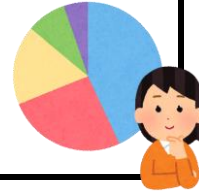
ご記入ください：



問6 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)※」を実現できていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※ やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても自ら希望するバランスで展開できる状態であること。この設問において、就業していない方は、家事、育児・子育て、介護・看護などを「ワーク(仕事)」としてお答えください。

- 1 実現できている
- 2 おおよそ実現できている
- 3 あまり実現できていない
- 4 実現できていない
- 5 わからない



問7 次の①～④について、あなたの家庭では主に誰が担っていますか。項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。(配偶者には事実婚等のパートナーも含まれます。)

	主に自分	主に配偶者	夫婦が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	該当なし
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
④ 自治会活動など地域の活動	1	2	3	4	5	6	7

問8 次の①～④について、誰が担うのが望ましいと思いますか。項目ごとにあてはまるものを1つずつ選んでください。



	主に夫	主に妻	夫と妻が同じくらい分担	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
④ 自治会活動など地域の活動	1	2	3	4	5	6	7

ドメスティック・バイオレンス(DV)についてお聞きします。

問9 次の①～⑭のようなことが、配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力※だと思えますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

※ 身体的・精神的・社会的・経済的・性的暴力等をいいます。

問10 次の①～⑭のようなことが、過去1年以内に配偶者やパートナー、交際相手に対して、「した」「された」経験がありますか。項目ごとにあてはまるものをすべて選んでください。




	問9		問10		
	暴力だと		1	2	3
	1	2			
① 平手で打つ	思う	思わない	した	された	経験はない
② 殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す	思う	思わない	した	された	経験はない
③ 大声でどなる	思う	思わない	した	された	経験はない
④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	思う	思わない	した	された	経験はない
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	思う	思わない	した	された	経験はない
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	思う	思わない	した	された	経験はない
⑦ 外出を制限する	思う	思わない	した	された	経験はない
⑧ 何を言っても無視し続ける	思う	思わない	した	された	経験はない
⑨ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う	思う	思わない	した	された	経験はない
⑩ 家に生活費を入れない	思う	思わない	した	された	経験はない
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	思う	思わない	した	された	経験はない
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	思う	思わない	した	された	経験はない
⑬ 性的な行為を強要する	思う	思わない	した	された	経験はない
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	思う	思わない	した	された	経験はない

問11 配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について、相談できる場所があることを知っていますか。

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問11-1 問11で「1 知っている」と回答した方のみにかがいます。それは、次のどの窓口や機関ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

<ol style="list-style-type: none"> 1 平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」 2 神奈川県相談窓口（配偶者暴力相談支援センター 他） 3 法務局（女性の人権ホットライン、みんなの人権110番 他） 4 人権擁護委員（人権相談） 5 市役所 6 警察 7 病院 8 その他（ご記入ください： _____） 	
--	---

問12 平塚市では、市役所や公民館などの市内公共施設のトイレに「DV相談窓口のご案内」カードを配架していますが、このカードを知っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1 見たことがある	2 聞いたことがある
3 もらったことがある	4 知らない

「DV相談窓口のご案内」カード



公共施設のトイレに設置しているもの



セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)についてお聞きします。

問13 セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)という言葉を知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

問14 今までに自分の身体の性、心の性または性的指向(同性愛など)に悩んだことはありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問15 平塚市では、令和4年4月1日から、「平塚市パートナーシップ宣誓制度※」を開始しましたが、知っていますか。

※ セクシュアルマイノリティや事実婚のカップルなど同性・異性を問わずパートナーシップのある2人が、互いに人生のパートナーであることを宣誓し、市長がその事実を公的に証するものです。

- 1 知っている
- 2 知らなかった



パートナーシップ宣誓受領証


番 号
年 月 日


パートナーシップ宣誓書受領証

氏名 _____ 様 氏名 _____ 様
 生年月日 _____ 年 月 日 生年月日 _____ 年 月 日
 宣誓日 _____ 年 月 日

平塚市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱の規定に基づき、お二人からパートナーシップ宣誓書を受領しました。
 平塚市は、一人ひとりの人権が尊重され、共に生き、支えあうまちづくりに取り組んでいます。
 お二人が、互いを人生のパートナーとして相互に協力し合いながら、自分らしく生き生きと活躍されることを応援していきます。

平塚市長 落合 克宏 印

パートナーシップ宣誓受領カード


 パートナーシップ宣誓書受領証カード

氏名 _____ 第 _____ 号
 _____ 様 _____ 様
 宣誓日 _____ 年 月 日

平塚市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱の規定に基づき、お二人からパートナーシップ宣誓書を受領しました。

平塚市長 落合 克宏 印

※ 受領証等は、平塚市パートナーシップ宣誓制度に基づき、パートナーシップを宣誓することで交付され、県営住宅や市営住宅への入居申請の際に使用することができます。市では、受領証等を提示することで利用できるサービスを増やしていくとともに、民間事業者や市民の皆様に対しても、周知啓発に努めています。

新型コロナウイルス感染症の拡大における影響についてお聞きします。

問16 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、どのような影響がありましたか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。該当しない場合は、「4 該当なし」をお選びください。



	問16			
	1	2	3	4
① 身体的な健康	良くなった	悪くなった	変化なし	
② 精神的に不安定になってイライラすること	増えた	減った	変化なし	
③ 生活に対する不安	増えた	減った	変化なし	
④ 家計収入	増えた	減った	変化なし	
⑤ 就業時間	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑥ 在宅勤務やテレワーク	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑦ 残業	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑧ 自分の収入	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑨ 職場環境	良くなった	悪くなった	変化なし	該当なし
⑩ 学校の授業や部活動、行事など	良くなった	悪くなった	変化なし	該当なし
⑪ 家事や育児、介護の負担	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑫ 家庭内のけんかや言い争い	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑬ 親族との付き合い	増えた	減った	変化なし	該当なし
⑭ 友人・知人との交友関係	良くなった	悪くなった	変化なし	該当なし

最後に、男女共同参画についてのご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、**10月7日(金)まで**
にご返送ください。(切手不要)

